

# 第 58 号

発行  
福岡県地域婦人会連絡協議会  
〒812-0046  
福岡市博多区吉塚本町13-50  
発行責任者 木下 幸子  
TEL 092-643-1440

- \*家庭・地域の教育力を高め、青少年の健全育成に努めよう。
- \*審議会等政策決定の場へ女性の参加を促進しよう。
- \*循環型社会をめざし、地球環境を守ろう。

# 県婦連ふくおか

## 『一隅を照らす』

福岡県地域婦人会連絡協議会

会長 木下 幸子



新年明けましておめでとうございます。皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年11月に鹿児島女性防火クラブ設立40周年記念大会が指宿市で開催され、福岡県女性防火クラブ連絡協議会会長として出席いたしました。

往路、鹿児島中央駅から指宿駅まで電車で揺られておりましたら、ちょうど下校時刻だったので、各駅で多くの高校生が乗車、また下車していきま。車窓に映る豊かな景色も相まって、しばしの間、少子高齢化や環境破壊といった今日の課題は錯覚であったかのような心持ち、人々の営みが平穏に行われていることにささやかな喜びを覚えました。

一方、車内の高校生には、転んで怪我をしたのでしょうか、擦り傷を貼ってあげようとしたが、放っておいてというような拒否反応がありました。

また、靴紐がほどけている女子生徒がいたので、教えてあげても無視されるなど、他者との交わりを拒むような雰囲気を感じる子どもたちも出会いました。今どきの若者は・・・という感情も少しだけありましたが、これから長い人生、苦労するかもしれないけれど、いろいろな出来事乗り越え、豊かに過ごして欲しい、これからの日本のために頑張つて欲しいとひそかにエールを送りました。

私は地元の間門市で駐輪場の管理をしながら、道行く人々への声掛けを続けています。やはり若い子の反応は総じて薄いのですが、毎日声掛けを続けていると、だんだん挨拶を返してくれるようになり、心が通うようになっていきます。

婦人会活動は、多岐にわたっておりませんが、その根底は「一隅を照らす」活動であると私は考えています。二隅を照らすとは、「目立たない場所で困っている人のためにやさしく力になってあげる。」というような意味合いで、天台宗の開祖である最澄が記し、中村哲医師（福岡市出身、アフガニスタンで、人道・復興支援に尽力。現地で凶弾に倒れる。）が好んで使われた言葉であるそうです。

皆さま、会員の高齢化や会員数の減少など、婦人会を取り巻く環境は明るくはありませんが、「二隅を照らす」婦人会、人に寄り添い、人を支える婦人会という原点に立ち返り、誠実に活動を行ってまいります。本年もよろしくお祈り申し上げます。

## 受章おめでとうございます

自治体消防75周年記念大会  
総務大臣感謝状 授与  
(令和6年11月29日)

授与者 木下 幸子  
(中間市女性防火クラブ)

日本防災協会会長表彰 授与  
(令和6年12月2日)



- 授与者
- 安河内 浩子 (桂川町)
  - 五十嵐 多喜子 (筑後市)
  - 藤木 利美子 (柳川市)
  - 川野 栄美子 (大川市)
  - 峯岡 準子 (小竹町)

## 全国赤十字大会

日時 令和6年5月15日(水) 11時  
場所 明治神宮会館

名誉総裁の皇后陛下から功績のあった個人、団体に有功章の授与が行われた。

実践活動報告、個人の部では、金沢大学生の大久保百茄さんより能登半島地震における奉仕団の取り組みとして、これからも震災直後から義援金の呼びかけ、炊き出しなどの活動を続けたいと話されました。

続いて団体では、大阪赤十字病院看護部看護係長 川瀬佐知子さんが、イスラエル、ガザにおける医療支援について現状を伝えられた。

最後に能登高等学校書道部6人による「人が薬」をテーマの書道パフォーマンスが行われた。(重松・川野)

## 創立70周年に寄せて

大川市連合女性会 会長 川野 栄美子

大川市連合女性会は、令和6年で70周年を迎えることになりました。この節目に、婦人会から女性会に名前を変えることにしました。理由の一つに婦人会と聞けば既婚者のイメージが強く、女性会にしていただいても入会しやすいようにしました。

旧婦人会は、昭和29年4月1日、大川市が誕生すると、同じ日に6ヶ町村婦人会が合併し「大川市連合婦人会」が結成されました。

当時会員数は7千人、大川市で一番古い団体です。初代大川市連合婦人会会長は、龍野マツ子さん。伝統ある木工業が盛んで、男女ともよく働くまちでした。

当時の大川市の人口は4万9千人。がまだし者の嫁が婦人会をささえました。龍野会長は、十年間活動をされました。

一、売春防止法制定運動

一、新生活運動

一、公明選挙運動

また、龍野会長は、初代大川市長の龍野喜一郎氏でした。

ご夫婦とも本市発展に大きな功績を残されています。以来婦人会は、行政と常に意思の疎通を計りながら今日まで歩んできました。

この会の活動目的は、成人女性の修養、趣味社会活動が上げられます。

今日では、仕事する女性があたり前の時代。構成人数が減少し役員のみならず不足が課題です。女性たちは、これからどう生きなくてはならないのか！世界をみますと、激動する国際化、戦争と平和、少子高齢化、日本は戦争がない国だと思えます。

これからは、新しい視点を加え、時代が要求する活力のある女性会にしていかなくてはなりません。それは、女性会は地域の主人公だからです。

誇りと自信をもって、日本人が大切に育てた価値観を、どのようにバトンを渡すのが大切ではないでしょうか。

そのためには、大川市男女共同参画社会づくりや、伝統から創造へを、合言葉に前進を。

71年目にむけ歩みはじめます。

※「がまだす」の意味

筑後大川地方の方言で働くための大変さを伝えている。その例として...

がまだすためには、あせが流れ出すなみだも出て来る、血液の流れが変化する。



# 令和6年度福岡県 地域婦人会連絡協議会 リーダー研修会

## 目的

福岡県地域婦人会連絡協議会の課題解決並びに九州地区婦人大会に向けて研修を深め、当連絡協議会リーダー相互の連携を密にし、リーダーとしての自覚、役割、任務の重要性を認識することにより当連絡協議会と九州地区婦人大会の一層の充実発展を期するため開催する。

日時 令和6年7月2日(火) 13時～14時30分

演題 「わたしたちができること」

講師 福岡県教育庁教育振興部社会教育課  
地域学校協働推進班長 坂本真一氏

## はじめに

「地域婦人会連絡協議会」とは組織の充実強化と男女共同参画社会の実現を目指す婦人会活動である

## 実現のため

- 一、地域婦人団体相互の連携を密にして、婦人の資質向上を図る
- 二、青少年の健全育成や子育て支援、高齢者や障がい者の福祉、地域や生活環境の保全、食育や食の安全、交通安全などの地域の実情に即した活動などの取り組みを行っている組織である。

## リーダーとは

- 一、チームや組織の指導者、統率者、先導者のことを指し、チームの役割は、目標達成と課題解決のための指揮を出す。
- 二、ただチームをまとめるだけでなく、良いリーダーはチームの能力を最大限に発揮し、優れた成果を出すことができる。

## 役立つと思うこと

- 一、依頼するとき――  
何々ができますか？と先ず聞く
- 二、トラブル対処のとき――  
①その時点でじっくり聞いた方がよい  
②対面で話したほうがよい  
三、前進させるとき――  
私達という言い方をした方がよい

- 四、モチベーション(気持ち)を高めたいとき――  
相手を褒める(してくれて助かったとか)
- 五、自分を整えるとき――  
何時も上機嫌でいること

良いリーダーとはチームの能力を最大限に発揮させ優れた成果を出すことが出来ることだということを知りました。

## リーダー研修会

日時 令和6年9月3日13時～15時

演題 防災セミナー「災害の備え」

講師 日本赤十字社福岡県支部組織振興課  
石内中敏氏

日本は台風の多い国で災害が多く、備えの必要や実行する事の大切さを学びました。

- ①まず身を守る
  - ②火を消すのは揺れが収まった後に
  - ③避難する際は電気とガスの元栓を止める
- 被害を抑え、減らすには
- ①家具等の転倒防止――  
ポール式で固定し壁側につける
  - ②ハザードマップを持って街歩きをする
  - ③在宅避難  
日常備蓄  
ローリングストック法――  
食べた分を買い足して備蓄していく方法

今日の講話で新しく発見した事や知っていたこともありますが、備えを大切に実行に移さねばと強く思いました。

## 次世代リーダー研修会について

私たち婦人会は、高齢化が進み若い人が入会がないと言う課題があります。そこで全国女連会長の櫻井さんは「社会教育団体である婦人会は、後継者を育てること」これが一番大切と言われました。

9月21日(土)22日(日)、10月19日(土)20日(日)の4日間筑波大学で研修が開催され、さっそく福岡県から2名(大川市から川野仁美、大木町から八嶋梓)が参加されました。



12月の定例会では、研修の参加報告を聞き、若い人がしっかりと学び刺激も受け熱意が感じられ、とても頼もしく思いました。来年度も地区の方が参加され、若いリーダーが育っていくように、私達もしっかり見守り育てていく責任があると感じました。(廣石)

## 第72回全国女性団体研究大会

日時 令和6年10月6日～7日  
場所 京都市民総合交流プラザ  
参加者 1000名

●全国女性団体連絡協議会 桜井よう子会長  
テーマ「私たちは世代を超えて交流を深め、新しい地域づくりや異文化理解、共生社会の構築を目指し、さらに自らが楽しんで活動に取り組める研究大会」

☆自らが楽しんで活動に取り組める組織を実現するためには、勉強ばかりでなく遊び心に満ちたワクワクするような様々な要素を盛り込んだ催しが、会員の連帯感を高めるとともに、一般市民、住民の皆様を巻き込んで仲良く活動していくことが大切と考えます。

☆人口減少、いつ起こるか分からない自然災害など、困難な時代ではありますが、女性会、婦人会の一員として、また、社会教育団体として認識を深め行動と実践力、そして連携と実績を積み上げながら、次の時代に手渡していくことが重要です。等、熱のこもったあいさつをいただきました。



## 〇基調講演

演題 「ねこのても借りたいまちづくり」  
―京丹後「こまねこまつり」の実践から―

〇今世の中には問題がいっぱいある。日本はいい国であるので、みてほしい。一人一人の役割、自分は何が出来るのか考えることが大切だとまとめられました。(木下会長、池田、川野、横溝、古場、事務局)

## 第76回九州地区地域婦人大会 全国団体連絡協議会九州ブロック会議

日時 令和6年11月25日～26日  
場所 ホテルニューオータニ佐賀  
大会テーマ 「つなぐ、信じる 地域のチカラ」

誰もが安心して暮らせる社会をめざして 私達ができること

第一分科会 組織の問題 白石町地域婦人会連絡協議会  
女性の視点によるまちづくり、地域を元気にする婦人会、

約20年前、3町村合併当時2000人いた会員が1000人を切る状態となった現在、解散の危機があったが、会に対する強い思いの会員により継続することとなり、他団体も会員が減少、ネットワーク(女性団体連絡協議会)の設立へとつながった。令和4年、「社会問題」解決のため女性が発表・活躍できる場をと町へ要望書を提出、町の行事には欠かせない存在となった。

今後の課題として若い会員を増やし、町の政策・方針決定に発言する資質がある「女性のリーダー」を育成することが急務だということでした。

第二分科会 教育の問題 呼子町地域婦人会  
子育て支援と親育て、地域で見守る子どもたち、

2016年、社会福祉協議会、公民館、小学校と連携した「子どもカフェ」をスタートさせました。「婦人会の人達に料理を習ったり、一緒に食事をしたことが嬉しかった」と社会人になった子ども達も「カフェ」で料理やパンの作り方を教えていると聞き、この「つながり」が正に親育てではないかと思ひ、子どもに向き合う余裕がない保護者(親)のいる中で私たちの関わりが親の一助になればとこれからは続けていきたいということでした。

第三分科会 福祉の問題 武雄町地域婦人会  
支え合い、共に生きる地域づくり、高齢社会を支える婦人会活動、

武雄町は106人の会員で5つの活動をしています。その内の社会貢献活動の一環として敬老会の催しについて紹介します。  
1.会場の手配、2.案内状の作成・配布、3.アトラクションの出演依頼などを担当。  
令和8年春、武雄アジア大学の開校が予定されており若年層人口増が予想され、世代間をつなぐ役割を担う婦人会の活動への期待は大きく、あらゆる世代の人の居場所、活躍できる地域づくりをめざして活動を続けていきます。

社会構造の変化により人と人との結びつきが希薄になった地域社会において、地域のために行動する婦人団体、女性団体の一員である私たち一人ひとりが連携をより深め、さらに新たな参画者を得て協働を進めることによって地域力を高めることにつながると確認いたしました。(大会宣言文より)



「複十字シール運動表敬訪問」  
令和6年8月8日(木)  
公益財団法人ふくおか公衆衛生推進機構の  
皆さまとともに福岡県副知事 大曲昭恵  
様を表敬訪問しました。



「結核・呼吸器感染症予防週間」キャンペーン街頭啓発  
令和6年9月23日(月・祝)  
新天町商店街にて結核・呼吸器感染症予防  
週間(本年度から名称変更)キャンペーンを  
行いました。

### 結核予防婦人会活動

**第54回九州地区結核予防婦人会団体幹部講習会**  
日時 令和6年11月14日(木)・15日(金)  
場所 ニュー・ウエルシティ宮崎

結核は、紀元前3000年頃のエジプトのミイラからも感染が確認され、人類が集団生活を始めて以来の病気であり、日本では、明治期以来国民病といわれ1945年から1950年、癌よりも恐ろしい病気でした。世界人口の1/3が感染しており、2018年には1040万人が発症し170万人が死亡、死亡のほとんどは途上国の人たちです。今、結核は確実に減少しているがまだまだ発症リスクの高い高齢者や外国生まれの若者にふえているということでした。

「複十字シール募金の活用」については発展途上国(ネパール・カンボジア・ザンビア)で施設機械の整備の技術研修、患者に寄り添うボランティアの育成、生活上のための研修(苗、種、道具を貸し出し家庭菜園の指導、収穫したトマトなどをケチャップなどにして付加価値をつける)などに使われているということです。  
こどもは感染するとすぐに発病しやすく、重症化しやすいのでBCGの予防注射をしましょう。

### 視察研修会

日時 令和6年10月1日(火) 13時～15時  
場所 ガーデンシティ健診プラザ

先ず「ザ・リッツカールトン福岡」を見学、そして、昨年7月1日にオープンした福岡大名ガーデンシティタワー5階にある、ガーデンシティ健診プラザへ行きました。ゆったりとした空間のエントランスや各検査室が配置されていました。AI技術を活用し、新しい施設で熟練の医師・技師による検査を受けることが出来るそうです。年一回の「定期健診」「人間ドック」を快適な空間で受診し、自分の健康と向きあうひとときになると、良いなと思いました。

### 交通安全母の会活動

**令和6年度九州ブロック  
交通ボランティア等ブロック講習会**  
日時 令和6年10月23日  
中小企業振興センター

福岡市で開催された令和6年度の講習会に10月23日に参加させて頂き福岡県から添田町会長の重松美津子さんの活動報告がされました。

各県の活動報告の発表があり今回は特に新しく自転車等利用時のヘルメット着用促進にかかる取り組み及び通行ルールに関する話題として大分県から報告があり全国2位の着用率(学生)の高さに驚きました。まだまだ色々課題も多く福岡県として考えさせられました。11月1日から新しく自転車の酒気帯び、スマホ等罰則強化が改正され自転車条例も統一されていない点があるとの事、今後の啓発が期待されています。私自身高齢者運転で、後悔を活用した学習はまさに「後悔先に立たず」を改めて考えさせられました。

### 秋の交通安全フェア in 久留米

日時 9月20日(金)  
場所 久留米シティプラザ六角堂広場

秋の交通安全県民運動が、9月21日～9月30日に合わせて開催されました。主催者として、県の中垣氏他2名挨拶、その後県交通安全広報大使6名の交通安全宣言。

そして、久留米市筑水高校生が、自転車ヘルメット着用モデル校に指定され、幼稚園児が「反射材をつけて命を守るう」とよびかけました。その後県警の音楽隊による演奏で閉会。

そして街頭キャンペーンでは、筑水高校生の育てたマリーゴールドとチラシを配りました。

○道路を暴走するのが、18才  
逆走するのが、81才

○自分探しの旅をしているのが、18才  
出かけたままわからなくなつて、  
皆が探しているのが、81才

※18才と81才の真逆な行動川柳より抜粋

### 女性防火クラブ活動

**令和6年九州・沖縄ブロック  
女性防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会**  
日時 令和6年12月2日(月)～3日(火)  
場所 ホテル日航大分オアシスタワー

講演 「自助・共助について」  
講師 大分県防火活動支援センター  
理事長 川村 正人氏

自助……自分や家族の身は自分たちで守る  
共助……近隣や地域の人たちが互いに協力し助け合う  
公助……国や都道府県・市町村などの行政機関や公的機関による対応

災害時(特に直後)は公助に期待できない。  
道路の寸断等で地域が孤立。  
行政等も自身が被災。  
※災害直後は特に自助・共助による対策が重要である。

### 2日目

おおい消防指令センター見学

全国で初めてのセンターで、大分県全域の119番通報を受信し、災害場所を特定した後に、管轄消防本部へ出動指令を行う。

県下14消防本部の連携・協力により消防指令業務の共同運用を行うことで、大分県全体の消防力の維持・強化を図り、住民の安全・安心な暮らしを守るセンターである。



指令台・映像通報システム

通報受付・災害種別・地点特定・出動隊編成

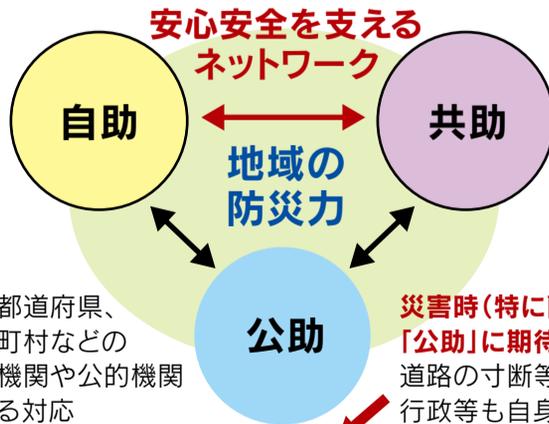
・出動指令・現場活動・活動報告

大規模災害の対応・指令センターが集約し迅速かつ効果的な応援体制の確立

BCP対策・耐震性、耐津波性、業務継続性に配慮  
大変勉強になった2日間でした。(安河内)

### 自助・共助と公助

自分や家族の身は自分たちで守る



近隣住民や地域の女性防火クラブ・自主防災組織の人たちと互いに協力し助け合う

(特に直後は)自助・共助による災害対策が重要

### 第20回幼年消防ふれあい祭り

飯塚市、嘉麻市、桂川町の幼年消防クラブのメンバー(幼稚園児、保育園児)770人が集まり、式典では、「わたしたちは、絶対に、火遊びをしません」と誓いの言葉を全員で報告し、その後「ぼうさい体操」や「消火器の当て」「けむり体験」「消防車綱引き」等を楽しみながら経験、火事の恐ろしさを体験しました。(安河内)



### 移動定例委員会 こんにちはは中間市(高倉健を偲ぶ会)

日時 令和6年11月10日  
場所 なかまハーモニーホール

午前中、定例委員会をしました。午後から、中間市出身の名優、高倉健さん(2014年に83歳で死去)没後10年、命日にあたる11月10日に出身地で遺作となった映画の上映会がなかまハーモニーホールで行われました。

主催は中間市婦人会、企画はファンの会と共に開催。遺作の「あなたへ」を配給した東宝も全面的に協力。共催は全国女性団体連絡協議会、後援は中間市、中間市教育委員会。

上映に先立ち、妹の森敏子さんはじめ故人と交流のあった方々のご挨拶、最後にトークショーでは様々な作品に関わった、カメラマンの木村大作さんが健さんとの触れ合い、思い出を語られました。中間駅や会場には黄色いハンカチが飾られ全国から集まったファン、そして福岡県婦人会は健さんを偲びながらの一日研修となりました。

## 地域だより

### みんなで踊ろう!!運動会で

桂川町婦人会

桂川町の町民音頭である「桂川よかたい音頭」を広く町民の方に踊ってもらいたいと思い、小学校の運動会で披露してはと「桂川夏祭り」の人々と相談。小学校の生徒に踊りを教えることにしました。

9月19日 桂川東小学校の体育館で、10月11日桂川小学校の運動場で、全校児童を対象に練習をしました。はじめに婦人会員が数回踊った後、みんなで練習しました。

最初は恥ずかしそうな姿を見せる子もいましたが徐々に楽しそうに踊っている姿を見て、私たちもとても楽しい気持ちになりました。

運動会当日は朝のうち雨が降り運動会が危ぶまれましたが徐々に晴れて、東小学校は大会の半ばで、桂川小は最後に児童、町民一緒に輪になって踊る事ができました。来年以降も続いていくことを願っています。

### おふろうさん

大川市連合女性会

地元の人々からおふろうさんと呼ばれ親しまれている風浪宮で11月10日に鎮火祭が斎行されました。鎮火祭はほしめまつりとも呼ばれ、宮中でも古来より行われていた火災予防の神事です。

当日は、大川市の消防団や私たち女性会の防火クラブが参加し、まず本拝殿において鎮火祭典の儀式が執り行われました。その後、境内に設けられた齋場において、宮司さんが、組み立てた木片にわらを乗せ齋火を点火します。そして狩衣、袴姿の消防団長が水苔を火に投げ、副団長が川砂を、最後に桶の水をかけ消火します。無事火は鎮火し、終わりました。

古代より受け継がれている神聖な儀式に参加することができ、心身ともに清められ、火災安全の祈願に感謝致しました。



## 行事予定

- 全国女性防火クラブ連合総会  
令和7年1月23日(木)  
東京都
- 結核予防全国大会  
令和7年2月5日(水)  
岩手県
- 結核予防関係婦人団体中央講習会  
令和7年2月26日(水)~27日(木)  
東京都
- 令和7年北方領土返還促進  
福岡県民集会  
令和7年2月16日(日)  
久留米市
- 全国女性団体研究大会  
in おきなわ  
九州地区地域婦人大会  
令和7年11月25日(火)・26日(水)  
沖縄コンベンションセンター

### 筑後市制70周年記念事業 「ちっご祭り2024」について

筑後市婦人会

5月末第一回実行委員会が行われ、開催は10月27日(日)、雨による延期はないと決定した。

「ちっご祭り」が「地域の人が主になってつくりあげる祭り」にしたいのでちっご音頭総踊りをしたら」の意見が出た。

婦人会としても船小屋鉾泉井戸が掘られて200年を迎えるので、「ちっご祭り」の最後に「ちっご音頭」で祭りを盛り上げたいと意見を述べた。

「ちっご音頭」の歌詞には、矢部川・鮎・源氏ポタル等筑後市の名所や環境の良さが唄われ、作曲も踊りの振り付けも優しくできている。

ちっご祭りのステージのスケジュール表に「ちっご音頭」筑後市連合婦人会と書き込まれた。当日は婦人会と商工会の女性部がステージの中心で出会うようにして踊った。

総勢40名余りが参加しピンクのジャンパーを着て踊ったので、県内から応援に来てもらったのかとたずねられた。  
来年は更に沢山の方に参加して欲しいと願っている。



### 交流会(12月5日)

○心がもろいのが、18才  
骨がもろいのが、81才

○まだ、何も知らないのが、18才  
もう、何も覚えていないのが、81才

○人の話を聞かないのが、18才  
人の話が聞こえないのが、81才

※18才と81才の真逆な行動川柳より抜粋



次世代リーダー御二人と一緒に

### 編集後記

コロナがおさまりいろんな行事が復活し、いろんな活動を掲載することが出来ました。  
沢山の原稿をありがとうございました。

#### 編集委員

- 池田穂波、川野栄美子、横溝敏子、
- 廣石福子、古場弘子、五十嵐多喜子、
- 江上昭子、安河内浩子